

2005 年度 小委員会活動成果報告

(2006 年 01 月 16 日作成)

小委員会名	キャンパス計画小委員会		主 査 名：小林英嗣 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	都市計画委員会		委員長名：鳴海邦碩 主 査 名：
設 置 期 間	2005 年 04 月 ～ 2009 年 03 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>■設置目的</p> <p>(1)高度情報化等、社会の変化を背景としたキャンパス計画の都市計画上の位置づけ及びその戦略と変遷を明らかにする。</p> <p>(2) 国内外におけるキャンパス計画の情報収集を行い、今後の整備方向の明確化を行う。</p> <p>(3)次世代におけるキャンパス像を明らかにする。</p> <p>■各年度活動計画</p> <p><u>05年度：</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画論、地域経営論からの分析の視点、都市再生施策、施設整備計画の視点等から、これまで構築してきた各大学の抱える資源、課題、計画主体、組織などのデータベースをさらに充実させる。 ・地域の首長や学長などの経営関係者へのヒアリングを行い、地域戦略と大学施設の経営戦略の方向性を整理する。成果をホームページで公開する。 ・小委員会主催による海外の事例調査を行い、大学と都市の視点およびその方向性に関する資料収集を行う。 <p><u>06年度：</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小委員会主催による中国、韓国等の調査を行い、アジアにおける大学と都市の視点およびその方向性に関する資料収集を行う。 <p><u>07-08年度：</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査結果に関する分析とこれまでの小委員会での成果をもとに、シンポジウムを開催し、典型的な大学についてのケーススタディなどによって、大学キャンパスと地域社会の連携に関する委員会活動を広くアピールする。 <p>この間、キャンパス計画関係者の懇談会（第 8 - 11 回）を開催する。</p>		
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：有</p> <p>主査 小林英嗣 (北海道大学) 幹事 小篠隆生 (北海道大学) 坂井猛 (九州大学) 委員 有賀隆 (名古屋大学) 上野武 (千葉大学) 円満隆平 (金沢工業大学) 尾崎健夫 (早稲田大学) 岸田省吾 (東京大学) 倉田直道 (工学院大学) 小松尚 (名古屋大学) 杉山丞 (東北大学) 田甫律子 (東京芸術大学) 鶴崎直樹 (九州大学) 三島伸雄 (佐賀大学) 山下治 (文部科学省)</p>		
設置 WG (WG 名：目的)	<p>(1)キャンパスと都市・地域WG：都市計画論、地域経営論からの分析の視点、都市再生施策、施設整備計画の視点等から、これまで構築してきた各大学の抱える資源、課題、計画主体、組織などのデータベースをさらに充実させる。</p> <p>(2)キャンパスの計画と戦略WG：地域の首長や学長などの経営関係者へのヒアリングを行い、地域戦略と大学施設の経営戦略の方向性を整理する。また、その成果をホームページ上で公開する。</p>		
2005 年度予算	380,000 円	<p>ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス：http://news-sv.aij.or.jp/toshi/sl/</p>	

項 目	自己評価						
委員会開催数	9回（年度内計画を含む）						
刊行物 （シンポジウム資料等は 除く）	無し						
講習会	無し						
催し物 （シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等）	<table border="0"> <tr> <td>1.（名称）キャンパス計画関係者の懇談会(第8回) （資料名）</td> <td>参加者数 79名</td> </tr> <tr> <td>2.（名称）英・蘭・仏の大学と都市の連携に関する調査 （資料名）</td> <td>参加者数 18名</td> </tr> <tr> <td>3.（名称）米東海岸の大学と都市の連携に関する調査 （資料名）</td> <td>参加者数 21名</td> </tr> </table>	1.（名称）キャンパス計画関係者の懇談会(第8回) （資料名）	参加者数 79名	2.（名称）英・蘭・仏の大学と都市の連携に関する調査 （資料名）	参加者数 18名	3.（名称）米東海岸の大学と都市の連携に関する調査 （資料名）	参加者数 21名
1.（名称）キャンパス計画関係者の懇談会(第8回) （資料名）	参加者数 79名						
2.（名称）英・蘭・仏の大学と都市の連携に関する調査 （資料名）	参加者数 18名						
3.（名称）米東海岸の大学と都市の連携に関する調査 （資料名）	参加者数 21名						
大会研究集会	<table border="0"> <tr> <td>1.（名称）PD地域マネジメントに向けた大学と地域の連携 （資料名）</td> <td>参加者数 41名</td> </tr> </table>	1.（名称）PD地域マネジメントに向けた大学と地域の連携 （資料名）	参加者数 41名				
1.（名称）PD地域マネジメントに向けた大学と地域の連携 （資料名）	参加者数 41名						
対外的意見表明・パブリックコメント等	無し						
目標の達成度 （当初の活動計画と得られた成果との関係）	<p>1. 都市計画論、地域経営論からの分析の視点、都市再生施策、施設整備計画の視点等から、これまで構築してきた各大学の抱える資源、課題、計画主体、組織などのデータベースをさらに充実できた。</p> <p>2. 地域のトップに聞く前段階として、都市計画担当や副学長などの経営実務担当責任者へのヒアリングを行い、地域戦略と大学施設の経営戦略の方向性を整理した。成果のホームページ公開を準備中である。</p> <p>3. 小委員会主催による海外の事例調査を2回行い、大学と都市の視点およびその方向性に関する資料収集を行った。</p> <p>4. 文部科学省文教施設部からの受託研究「大学等施設の実態把握に関する調査研究」を実施した。</p> <p>5. 内閣官房都市再生本部の8都市における「大学と地域の連携したまちづくりワークショップ」を支援した。</p> <p>6. 小委員会メンバーによる研究が、科学研究費基盤B1「都市環境再生を目標とした大学と地域の持続的連携計画・マネジメントに関する研究」（平成 16-17年度）、萌芽「大学と地域の環境マネジメント協働モデル構築に関する基礎的研究」（平成 17年度）、萌芽「環境配慮型大学キャンパス・マスタープラン創出における都市政策との連携に関する研究」（平成 17-18年度）に採用され、一連の研究成果をとりまとめた。</p> <p>7. 以上の得られた知見と成果を、キャンパスマネジメントハンドブック（2006年度改訂版）として出版企画した。</p>						
委員会活動の問題点・課題	<table border="0"> <tr> <td>1. 都市再生における大学と地域の連携に関する方向性</td> </tr> <tr> <td>2. アジアの大学と都市の連携に関する調査による論点整理</td> </tr> <tr> <td>3. コミュニティカレッジ、私学、小規模大学、の都市との連携に関する方向性</td> </tr> </table>	1. 都市再生における大学と地域の連携に関する方向性	2. アジアの大学と都市の連携に関する調査による論点整理	3. コミュニティカレッジ、私学、小規模大学、の都市との連携に関する方向性			
1. 都市再生における大学と地域の連携に関する方向性							
2. アジアの大学と都市の連携に関する調査による論点整理							
3. コミュニティカレッジ、私学、小規模大学、の都市との連携に関する方向性							

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。